

令和7年度 グループホーム王子 地域連携推進会議録

日 時；令和7年9月29日（月）11時～12時

場 所；養楽福祉会 法人本部 会議室

出席者；グループホーム王子 管理者

グループホーム王子 サービス管理責任者

グループホーム王子 担当者

他法人 高齢者施設 支援課長

他法人 高齢者施設 施設長

基幹相談支援センター 主事

民生委員

利用者保護者

利用者

1 開会・挨拶

センター長より

2 自己紹介

3 事業所の紹介

別紙参照

（1）養楽福祉会の紹介

（2）グループホーム王子の紹介

（3）地域連携会推進会議の目的と効果

4 ミニ講義

別紙参照

（1）知的障害とは

（2）自閉症（自閉スペクトラム症）とは

（3）共通する支援のポイント

（4）防災について

5 質疑応答・意見交換

（1）Q：グループホームに入居している利用者の年齢層は現状どのようになっているか。

A：虹に関しては20代から70代の障害者の方が入居している。常時車椅子の方はいないが移動距離等で状況によっては車椅子を利用している方がいる。

（2）Q：利用者さんは外出等しているか

A：支援者が付き添い、ドライブや近隣の飲食店に食事へ行っている。

（3）Q：地域サポートセンターから地域にどのような働きかけを望まれているか

A：昨年度は夏祭りに招待していただき参加した。今後も夏祭りや地域清掃等イベントがあれば声をかけていただき参加したいと思っている。現状回覧板が回ってい

ない為情報を得る機会がないが、来年度から広報春日井が町内会の加入有無に関わらず配布されるため配布されることとなる。また、町内イベントについてもポストに投函し案内していただくことになる。

(4) Q : どのようなイベントの参加を想定しているか

A : 利用者さんはお祭りを好まれるため、町内のお祭りに参加できれば良いと思う。

(5) Q : 地域の避難訓練に参加できれば良いが実施されているか

A : 他法人の高齢者施設においては近隣住民、管轄の消防署に協力していただいて敷地内で避難訓練している。訓練に参加していただくことで地域交流、また障害者理解に繋がればよいと思う。

(6) Q : 災害時の避難について

A : 地域ごとに避難場所が決まっておりグループホーム虹は西部ふれあいセンターが避難場所となっているが距離があるため、災害時は協力し合えたらと思う。

(7) Q : 避難訓練について

A : 定期的に行っており、ありがたく思う。週末帰省している為、自宅で災害が起きた際の対応を家庭でも考えなければいけないと思う。

(8) Q : 現状の課題に対しての対策はどのように考えているか。

A : 利用者の高齢化が進んでおり、介護技術が必要となっている為、高齢者施設の方から介護技術の情報交換ができればと思う。

(9) Q : 外国人労働者の雇用状態についての現状は（センター→他法人高齢者施設へ）

A : ここ数年増えており、介護職員50人中8人（女性、20代前半、ネパール）が働いている。日常的なコミュニケーションは問題ないが専門的な話はコミュニケーションをとりながら伝えている。

A : 15人の外国人労働者（インドネシア、ネパール、ミャンマー）が働いている。人員不足ということもあり外交人労働者の方の力が必要不可欠であり今後も増えていくと思われる。

(10) Q : 外国人労働者への利用者理解について

A : 高齢者の方は外国人労働者の方に拒否があり、職員配置を配慮している。外国人労働者、利用者双方が安心して生活、仕事ができるように研修等を行っている。グループホームは終の住処であるため、本人の希望を第一にグループホームでの過ごし方を考えている。ご本人の状況によっては介護保険の切り替えや法人内の入所施設への移行を利用者、保護者さんと協議し安心に過ごせるように配慮している。

6 その他

(1) 施設見学日について

ア グループホーム王子 : 11月21日（金） 11時

イ グループホーム 虹 : 11月25日（火） 11時